



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

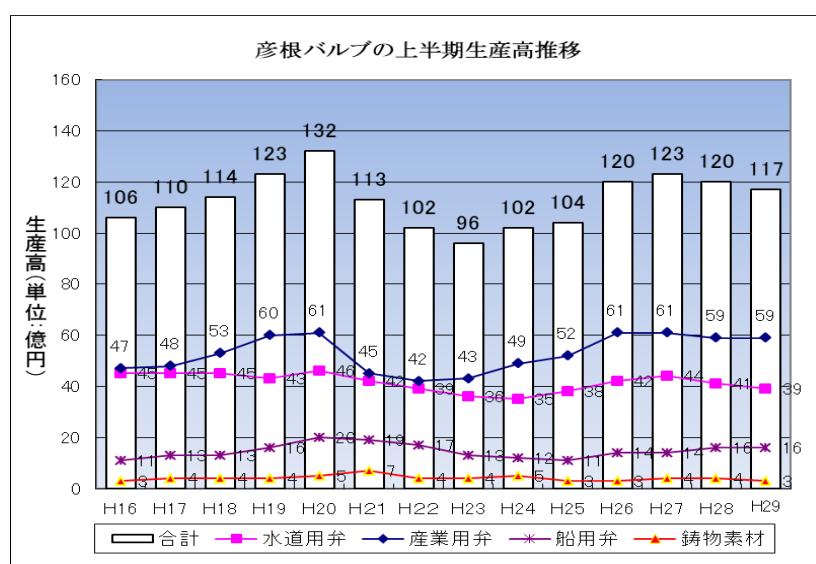
〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

平成 29 年上半期の対前年比較表

(単位：百万円)

種類別	平成29年 (1~6月)	平成28年 (1~6月)	増減率 (%)
水道用弁	3,896	4,098	-4.9
船用弁	1,626	1,649	-1.4
一般産業用弁	5,880	5,907	-0.5
鋳物素材	347	361	-3.9
合計	11,749	12,015	-2.2



第30回軟式野球大会（多賀町民グランド）

【日本バルブ工業会・日刊工業新聞社後援】



写真左より

【優勝 清水工業】

会社	貢献度 (%)	合計 (%)
昭和バルブ製作所	8	8
角田鉄工	5	13
清水鐵工所	2	15
ミヤジマ・松尾バルブ	9	24
廣瀬バルブ工業	10	34
オーケーエム	14	48
宮部鉄工	2	50
清水工業	5	55
大和バルブ	6	61

(優勝) 清水工業

滋賀県立大学特別講演

事務局夏季休暇

去る7月11日、滋賀県立大学工学部1年生向けの講義に「機械と地場産業」のテーマで、廣瀬バルブ工業株社長小野慎一氏が特別講義をされた。これは、昨年に引き続き青年部部長として滋賀県立大学から依頼を受け、「バルブ産業の知名度アップ」と将来を担う人材確保の活動として組合青年部が実施したものであります。

月）のバルブ生産高調査（22社）の結果がまとまり、同上期の生産高は、117億4900万円と前年同期比金額で2億6600万円減、増減率でマイナス2・2%となりました。業種別では、産業用弁は前年比マイナス0・5%金額で2700万円減の58億8000万円と2年連続減少となりました。この要因としては、3月頃まで国内各ユーチャーの設備投資が低調であつた事が影響したと思われます。水道用弁は、前年比マイナス4・9%（2億200万円減）

連続の減少になりました。要因としては、全国的な公共工事予算の削減によるものと需要を期待している首都圏でも工事物件発注が未だ低調であるためと思われます。

船用弁は、前年比マイナス1.4%（2300万円減）の16億2600万円と28年下期に引き続き減少する結果となりました。これは、造船受注の新規受注が低調で建造ペースがダウンしている影響によるものと思われます。

鋳物素材は、前年比マイナス3.9%（1400万円減）

所の事に手をいたしました。今後は見通しとしては、春ごろから国内の民需関連需要が見られ始めた事と、秋ごろからのオリンピック関連やリニア新幹線需要が期待できる事もあり産業用弁は上昇に転じると思われます。水道用弁は首都圏を始めとして予定される公共工事が順調に発注されれば上向きに転じてくると思われます。船用弁は船用エンジン排ガス規制による市場の動向に期待したいものであります。

平成二十九年上期バルブ生産高調査結果
前年比2.2%減の117億円台

の3億4700万円と地場バルブ業界からの受注減の影響を受け減少しました。

このように水道弁、産業用弁、船用弁、鋳物素材とすべての業種で前半比減少する結果

本年度の安全標語の募集には、14社467通の応募があり、去る7月10日に、審査会を開催され、次の通り優秀作品が選ばれた。今年は特に奨励賞として、5点を追加し賞状と記念品を贈呈しました。

慌てず焦らず完全停止
動かす前には一呼吸
守つて防ごう労働災害
古川工業㈱ 中川 雅晴